

第2回ALSOKグループ介護会社 品質向上発表会

の様子が「高齢者住宅新聞」に紹介されました

品質向上発表会を開催

ALSOKグループ

総合警備保障（以下・ALSOK／東京都内）は10月20日、第2回目となる「ALSOKグループ介護会社品質向上発表会」を開催した。HCM、ウイズネット、ALSOKあんしんケアサポート、アニストから計11チームが参加した。

各チーム15分の発表時間の中で、利用者・入居者満足度の向上、虐待防止策、転倒予防、内部監査、保険外

サービスの事例など、各施設が取り組む多様な活動を紹介した。最優秀賞にはウイズネットが運営する「グ

ループホームみんなの家・田端」が選ばれた。

みんなの家・田端は2011年開設の3ユニットのグループホーム。ホームの課題は、スタッフの経験や知識

差によるケアの質のバラつきにあった。そこで、さらにホームの質を高めるためにスタッフが「毎日の気付き」



▲みんなの家・田端のスタッフと能谷常務（前列左から3人目）

ず記入し、それを全スタッフが閲覧できるように保管。レポートは会議でも使用され、話し合いの中でホーム内のリスクやスタッフそれぞれのケアに対する考え方を共有していた。

をレポートとして提出するルールを策定。レポートはフロア長、ホーム長が確認、アドバイスや考え方を必ず

繋がった。家族の満足度が高まり、ホームの行事などの平均参加者数は30名程。入居者の家族は必ず誰か一人は出席しているという計算だ。また、勤続3年以上の比率も約8割と、スタッフ定着率も向上している。

こうした積み重ねによりスタッフのモチベーション向上や、認知症高齢者に寄り添う気持ちなどが醸成されていったという。入居者家族に対しても日常の様子を詳細に話せるようになり、信頼向上に繋がった。

■ALSOKあんしんケアサポート株式会社では、介護サービス事業本部 居宅介護支援・採用担当チームが優秀賞に選ばれました。今後も、品質向上の取組を継続し、お客様に安心してご利用いただけるよう、事業運営に取り組んでまいります。

*本資料は、『株高齢者住宅新聞社』に記事利用許諾を得て作成しております。